

K-1 旧川本邸



やまなか としひろ
山中 俊広 (b.1975)

■インディペンデント・キュレーター
大阪府立大学 経済学部卒業。大阪芸術大学大学院 芸術文化研究科修了。
大阪芸術大学博物館学芸員、YOD Gallery ディレクターなどを経て、
2012年よりフリーランスで活動を開始。関西を拠点に現代美術に特化した
展覧会やイベントの企画、美術評論の執筆などをおこなう。

- 【主な展覧会企画】
- 2002~04年 大阪芸術大学博物館 学芸員
「アジアへの視点 岩宮武二 × アンリ・カルティエ・ブレッソン」(2002年)
「ヴォーリスがのこした建築図面」(2003年)
 - 2006年 インディペンデント・キュレーター
「放たれた目線、からみあう視線」(イムラアートギャラリー、2006年)
 - 2008~11年 YOD Gallery (大阪) ディレクター
「Under 100」(2010年)
「柴川敏之展 PLANET ANTIQUES ; 2000年後の骨董市」(2010年)
「モノトーンのかたち 一陶芸の領域にある表現」(2011年)
 - 2012年~ インディペンデント・キュレーター
「リアリティとの戯れ -Figurative paintings-」
(なんばパークス・パークスホール、2012年)

キュレーションコンセプト

「記憶」をゆり動かす「いろ」

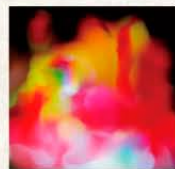
表現スタイルの異なる5名の作家によるグループ展を、大正期の遊郭建築《旧川本邸》にて開催します。かつてこの場を行き交った人々の心の中には、様々な感情や情景そして人間模様が存在していたはず。それらを作品やその構成で作り出す空間の「色彩」をキーワードに鑑賞者に喚起させ、これまでいったん途切れていた《旧川本邸》の過去を、現代の私たちの感覚や世界観を通じて新たに今と結び付けていきます。



かがじょうけん
加賀城 健 (b.1974) [pa, in]
染色の技法を用いて、自らの身体動作と感覚を直接的に平面上へ反映させる絵画的表現を展開する。支持体の素材となる布の可変性と、染料の特性を活かした色彩および色面の多様性を駆使して、平面絵画における新たな概念と解釈を追究している。



なかしま むぎ
中島 麦 (b.1978) [pa]
鮮やかな色面を駆使して、旅や日常の記憶を主題にした半具象的なモチーフによる絵画作品に取り組んでいる。分解的に再構築する記憶の残像と、無から自然発生的に再構築する感覚の概念を、1つの画面に融合させる世界観を展開している。



おかもとあきら
岡本 啓 (b.1981) [ph]
印画紙やフィルムの上に、現像液や光を用いて色やかたちを直接描くことにより、独特の絵画的な写真作品を制作する。近年は実際に撮影したフィルム上の形象を混合させ、感覚および視覚の関係性へ自らの関心を深めている。



またに こうたろう
前谷 康太郎 (b.1984) [mo]
太陽光など日常の環境にある光をサンプリングし、それらを再構成したビデオ・インスタレーションと写真作品を主に発表している。情緒的な要素を排除し、時間や記憶、光と闇の概念を、より抽象的に視覚化させていくことを追究している。



のだまりこ
野田 万里子 (b.1985) [sc, in]
インスタレーションからドローイングまで多種多様な素材と表現を用い、行為の反復を主題に制作をおこなう。行為を繰り返すことで、形態以上に概念が大きく変容するという現象・事実を、あらゆる日常的な素材を通じて浮かび上がらせていく。

K-2 杉山小児科医院



ちば じゅんいち
千葉 淳一 (b.1963)

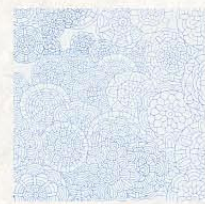
■ギャラリスト
1986年 早大卒。新聞記者を経て、現代アートのギャラリーを経営。
2005年 日本経済新聞社大阪社会部次長
2007年 同社東京文化部次長
2010年 同社退職
2011年 橋画廊株式会社代表取締役。

キュレーションコンセプト

診察室の壁にかかった依美のドア型の作品は、鑑賞者の皆さんが自らの手で開くことによって成り立つ作品です。子どもこのころ、小児科医院は行きたくない場所だったかもしれませんが、彼女の作品に触れることで、ここが身近な場所に感じられ、診察室のイメージが変わります。2階の書斎で待っているのは西岡恵子が神経を研ぎ澄ませて描いた「波紋」のような「絵画。構図にも色彩にも頼らず空間を表す現代アートに浸ってください。



えみ
依美 (b.1982) [in]
「DOOR+杉山小児科医院」
歴史ある杉山医院にドアを置きます。人は扉があれば開きたいと思うものです。ドアはいわば好奇心の扉。ドアの先にあるものを見つけた瞬間、新たな自分探しの旅が始まります。



にしおか けいこ
西岡 恵子 (b.1984) [pa]
「匂いと箱の辺り」

呼吸を調え、筆先を静かに着地させる。感触を確認しながら筆を滑らせ、線をひく。核になる花のイメージが中央に置かれ、波紋のように広がる。線の強弱、密度を見極めたとき、画面は揺らぎ始める。



ふくだ りょうこ
福田 遼子 (b.1969) [pa]
「三月の詩」
花が咲こうとするエネルギーを、人物に見立てて描いています。生命の持つ美しい彩りや安らぎのある存在感を感じてもらいたいと思います。

イベント情報

11月2日 日 14:00~15:00 会場：旧川本邸 1階大広間
キュレーター山中俊広企画
聞き語り「大和郡山の文化・暮らしと旧川本邸」
語り：秦 峰一 氏 (大和郡山在住の映像作家) 定員：50名
☒ hanarart.kawamoto2012@gmail.com



11月3日 土 祝 14:00~15:30 会場：旧川本邸 1階大広間
キュレーター山中俊広企画
トークセッション「旧川本邸から浮かび上がったもの」
トークメンバー：出展作家5名、山中俊広 定員：50名
☒ hanarart.kawamoto2012@gmail.com



11月11日 日 10:30~ 会場：杉山小児科医院
キュレーター千葉淳一企画福田遼子ワークショップ



内容：子ども向けお絵描き教室。にじみを活かす技法を使い、皆と一緒に、床に広げた紙に絵を描きます。筆持参。
料金：500円 持ち物：筆 定員：15人 橋画廊 ☎06-6532-4395